

生き生き にこにこ

# 国津っ子

2008年4月19日 第2号

名張市立国津小学校通信

## 生き生き にこにこ 国津っ子

子どもたちの教育目標ですが、私たち職員も生き生きとし、にこにこしながら子どもたちにかかわっていききたいと思います。名張市内どこからでも通える学校（特認校）として、国津のよさを教育として子どもたちに提供することが使命です。がんばります。

こんな子ども像をめざします

進んで取り組む子



仲良くできる子

素直で明るい子



学校大好き、友だち大好き、勉強楽しい・・・そんな気持ちが持てるよう私たちも精一杯努力し実現させていきたい。そのためにも、保護者の方々と教職員が分かり合い、なんでも相談できる関係になることだと思います。遠慮なく声を届けてください。お願いします。

# よろしくお願ひします

## 2008年度スタッフ紹介

校長	手塚 倫生	教頭	宮崎 寿真子
1年担任	森川 郁代	2年担任	朝比奈 早瀬
3・4年担任	河崎 宏子	5・6年担任	岩崎 学
養護	熊田 泉	事務	井上 里佳
調理	芝田 節子	校務	山中 心さ子
(育児休業)	教諭 村田瑞帆・養護教諭 布生裕子)		
学校医	加藤 正彦	学校歯科医	松本 博司
学校薬剤師	赤井 佐和子		
学校評議員	藪井 喜巳様(神屋) 北畑 維久子様(布生) 世古口 緑様(国津園) 福田 尚子様(つつし)		

### 【学年別児童数】

学年	1	2	3	4	5	6	合計
男	7	3	3	2	2	1	18
女	2	2	3	1	4	2	14
計	9	5	6	3	6	3	32
学級人数	9	5	9		9		32

### 【地域別児童数】

	奈垣	神屋	羽根	吉原	百々	布生上	布生下	つつじ	夏見	百合丘	美旗	瀬占口	桔梗丘	計
男	1	0	0	1	0	0	1	8	2	1	1	1	2	18
女	2	3	0	1	1	1	1	1	0	2	0	1	1	14
計	3	3	0	2	1	1	2	9	2	3	1	2	3	32



## 2008年度国津小学校の学校教育目標

<目指す学校像>

子ども・保護者が満足する学校

<学校教育目標>

生き生き にこにこ 国津っ子

<めざす子ども像>

・進んで取り組む子 (自主性、積極性、実行力)      ・仲よくできる子 (思いやり、協力、信頼、人権尊重)      ・素直で明るい子 (明朗、誠実、健康)

<重点目標>

### 経 営

- ◎児童・教職員・保護者のアンケート結果で、総合的満足度が80%得られることを目指す。そのために、児童・教職員・保護者、相互の人間的な心のふれあいを深め、明るく生き生きとした温かく楽しい学校経営・学級経営に努める。
- ◎地域・家庭との連携を深め、特認校として特色のある学校づくりを目指し、児童・教職員・保護者の特色満足度80%を目指す。そのために地域の教育力を毎学期学年に応じて活用し、地域の「ひと・もの・こと」を生かした、特色ある教育活動を創造する。

### 指 導

- ◎年度末の算数科学力調査で、すべての児童が昨年度より2ポイント以上向上すること、また学校平均が全国平均を上回ることを目指す。そのために平素の授業の充実といきいきタイムの活用に重点を置き、個々の弱みの克服や、更なる発展を目指し、職員一丸となって取り組む。
- ◎意欲を持って主体的に学習や活動に取り組めたという児童が80%を超えることを目指す。そのために、複式学級の授業及び諸活動において、夢中になって取り組める学習活動を創意工夫し、提供する。

# 具体的な取り組み

地域の「ひと・もの・こと」を活かし、少人数ならではの教育を基本に、以下のことを本校の指導の柱=○、昨年度末の課題に対する取り組み=■にします。

## ○一人ひとりを生かす授業・わかる授業に努めます。

- ・普段の授業、複式の授業を個に応じた決め細やかな指導を大切に進めます。
- ・水曜日 5 時間目「いきいきタイム」で、算数の弱点克服、発展学習を、個々に応じて取り組みます。

## ○読書の時間を大切にします。

- ・火木に朝の読書の時間を設けます。

## ○主体性を育てる活動の充実を図ります。

- ・複式授業の中で、自分たちで学習できる力を育成します。
- ・地域を生かした特色ある学習や児童会活動、学校行事で主体性を培っていき、修学旅行やキャンプを、培われた主体性の発揮の場とします。

## ○コミュニケーション力を育成します。

- ・ライフスキル学習を系統的、継続的に取り組みます。
- ・学級集団づくりを更に大切にしていきます。

## ■教師と保護者の意思疎通をさらに大切にします。

- ・お会いしたときには今まで以上に積極的に子どもの様子を伝え、家庭での様子も聞かせていただき、連携を太くします。
- ・「子ども・保護者アンケート」を生かし、改善につなげます。

## ■子どもの心を深くつかみ、親身な対応に努めます。

- ・担任はもちろん、保健室を悩みや相談の拠点として、全職員で一人ひとりの子どもの心をつかみ、安心できる学校づくりを進めます。